

【中学校国語】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性等について

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【領域】

◇【知識及び技能】の「言葉の特徴や使い方に関する事項」は全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

◇【思考力、判断力、表現力等】の「話すこと・聞くこと」、「書くこと」については、全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

◆【思考力、判断力、表現力等】の「読むこと」については、全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと。

・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えること。

・読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えること。

・表現の効果について、根拠を明確にして考えること。

・事象や行為を表す語彙について理解すること。

・根拠を明確にしながら、文章の構成や展開について、読み手の立場に立って考え、意見文や批評文などを書く活動の充実。

・自分の書いた文章や、他者が書いた文章を読んで表記を確かめ、修正する活動の充実。

・文章中の表現に着目し、意味を調べたり、実際に使う事例を考えたりする活動の充実。

記号の意味

(△) 上回っている

(◇) やや上回っている +3ポイント

ほぼ同程度 ← 全国平均正答率

(◆) やや下回っている -3ポイント

(▽) 下回っている

* 「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。